

M 4.5, 震源地:千葉県北東部, 深さ約30km, 2020/02/20 12:53頃発生 (気象庁発表)

大阪府池田市

震度の分布 最大観測震度4(*)

主要都市の推定震度 (都市の最大観測震度と人口を考慮して掲載)

最大(*) 観測震度	推定震度頻度分布 1 2 3 4 5+6-7	市区町村名	全人口: 昼間 (人)	震央距離 (km)
-		大阪府池田市	96,000	447
4		千葉県長生郡長南町	8,900	5
3		千葉県茂原市	88,000	3
3		千葉県大網白里市	33,000	13
3		千葉県東金市	61,000	18
3		千葉県市原市	240,000	19

最大観測震度は、各市区町村内で観測された最大震度。観測された計測震度を250mメッシュで補間し、市区町村ごとに推定震度頻度分布を作成した。観測時刻が9:00-18:59のとき昼間人口、19:00-8:59のとき夜間人口を示し、平成22年国勢調査、平成21年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を二桁精度になるよう四捨五入した。震央距離は震央から各市区町村中心部までの距離。

行政区ごとの震度遭遇人口

推定震度5弱以上

推定震度5強以上

推定震度6弱以上

推定震度6強以上

(各震度階級の揺れに遭遇した人口を考慮して掲載)

行政区名	震度5弱以上 遭遇人口	震度5強以上 遭遇人口	震度6弱以上 遭遇人口	震度6強以上 遭遇人口
大阪府池田市				
全国	1,000未満			
千葉県	1,000未満			
千葉県長生郡長南町	1,000未満			

全国および震度遭遇人口の多い都道府県と市区町村について掲載。震度遭遇人口が1~999人の場合は1000未満と表示。全国、都道府県の値は、市区町村の値の合計と必ずしも一致しない。

震源域付近で起こった過去の主な被害地震

発生日	地震名	M	被害
1895	茨城県南部	7.2	北海道・四国・中国の一部まで地震を感じた。被害範囲は関東東半分。全潰53(家屋43, 土蔵10), 死6。
1915	房総半島	6.0	下香取郡方村・長生郡西村・その他崖崩れがあり、傷5。人家・物置の潰れがあった。群発地震で、12日から地震が続いていた。
1921	茨城県南部(竜ヶ崎地震)	7.0	千葉・茨城県境付近に家屋破損・道路亀裂などの小被害があった。従来、竜ヶ崎付近の地震とされていたもの。
1922	千葉県西岸(浦賀水道地震)	6.8	東京湾沿岸に被害があり、東京・横浜で死各1。家屋・土蔵などに被害があった。
1923	神奈川県西部(関東地震, 関東大震災)	7.9	東京で観測した最大振幅14~20cm。地震後火災が発生し被害を大きくした。全体で死・不明10万5千余。住家全潰10万9千余。半潰10万2千余。焼失21万2千余(全半潰後の焼失を含む)。山崩れ・崖崩れが多い。房総方面・神奈川県は隆起し、東京付近以西・神奈川県は沈下した。相模湾の海底は小田原・布良線以北は隆起、南は沈下した。関東沿岸に津波が襲来し、波高は熱海で12m、相模で9.3mなど。
1924	神奈川県西部(丹沢地震)	7.3	東京・神奈川・山梨・静岡各県に被害があり、死19。家屋全潰1200余。特に神奈川県中南部に被害が著しかった。
1987	千葉県東方沖	6.7	千葉県を中心に被害があり、死2。住家全潰16。一部破損7万余のほか、道路などにもかなりの被害があった。
2012	千葉県東方沖	6.1	東北地方太平洋沖地震の周辺誘発地震で正断層型地殻内地震(深さ15km)。死1。傷1。最大震度は5強(茨城県神栖市, 千葉県銚子市)。

出典: 国立天文台編「理科年表 平成29年」, 丸善出版(2016), 一部表現を割愛

J-SHISから公表している地震ハザード情報

防災科研が公開するJ-SHISでは、ある地点に対し影響を及ぼす全ての地震を考慮し、その地点が大きな地震動に見舞われる危険度、すなわち地震ハザードを評価しています。(2019年地震ハザード評価)

50年間超過確率2%の計測震度分布

再現期間50000年相当の計測震度分布